

議会報告会（委員長報告）

委員会名 一般会計予算等審査特別委員会

開催日時	平成28年3月3日（木）、4日（金）、7日（月）、8日（火）、9日（水）、10日（木） 午前9時30分から
開催場所	議会全員協議会室
報告者	（委員長）中村聡一郎、（副委員長）大石和久
出席議員	西岡幸子議員 池田実議員、三宅真里議員、小野田康成議員、高橋浩司議員、 久坂くにえ議員、山田直人議員、赤松正博議員
報告内容	<p>（件名及び審査概要）</p> <p>議案第91号平成28年度鎌倉市一般会計予算外22議案について審議いたしました。当委員会は3月3日より延べ6日間にわたって委員会を開き、市長が平成27年度予算説明で述べている内容がいかなるものか質疑及び活発な意見交換を行った結果、付託を受けました23議案についてはいずれも原案のとおり可決いたしました。以下、特別委員会においてまとめた意見を記します。</p> <p style="text-align: center;"><u>委員長報告における意見（概要）</u></p> <p>① 職員のコンプライアンス（法令遵守）について</p> <p>職員による不適切な事務執行は、市役所に対する市民の信頼を失墜させるものであり、その信頼回復に向けては、コンプライアンスに対する職員の意識改革、そして適切な事務執行のための環境整備が急務となっております。職員のコンプライアンス研修については、信頼回復に向けた取り組みの一端を担うものであり、研修内容、回数を充実させるとともに、全職員が確実に研修を受けられる体制をつくることで、職員の意識改革につなげていくことを求めました。</p> <p>② 保育園、子ども会館、子どもの家における施設整備及び待機児童対策</p> <p>保育園については、毎年五十人前後もの待機児童が発生しており、施設整備とあわせて認定こども園への移行支援や、新設の保育コンシェルジュ等を活用するなど、待機児童解消に向けて事業の推進を求めました。また、子どもの家については、入所希望者が増加し、利用定員の弾力的な対応を行っているものの、施設は量的に不足している状況であります。学校敷地内での整備を含む施設の質的・量的確保を図ることを求めました。</p> <p>③ 社会基盤施設マネジメント計画の推進</p> <p>計画推進にあたっては、防災安全部、まちづくり景観部等、関係する部同士の連携の枠組みを確立し、後期実施計画に十分な対応を求めました。</p> <p>④ 文化財調査・整備事業及び史跡環境整備事業</p> <p>出土した大量の埋蔵文化財の整理作業に当たっては、現行の体制で三十年もの時間を費やす状況から十分な体制とは言えず、また、史跡の保存・管理に当たっては、財政難や人手不足を理由に十分な管理ができていないことから、保存が危ぶまれる状況であります。鎌倉の歴史環境を整備し、史跡を守っていくためにも、早急に体制を整えることを求めました。</p>